

2017年10月19日

AGC旭硝子の切子調ガラスオーナメントが トヨタ自動車株式会社 LEXUS の新型「LS」に採用

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）の切子調ガラスオーナメントが、10月19日に発売されるトヨタ自動車株式会社LEXUSの新型「LS」に採用されました。本製品は、当社の最新技術により切子細工をモチーフとした繊細な造形を施した化学強化ガラスで、ドアトリム部分の装飾としてLS500 およびLS500hの上級バージョンに使用されています。

LEXUSの新型「LS」は、LEXUSの象徴としてブランドの変革を体現するフラッグシップモデルで、「TAKUMI CRAFTSMANSHIP」をテーマに、日本の匠の技を見どころとした繊細で個性的なインテリアが特徴です。ドアトリム部分に採用された当社の切子調ガラスオーナメントは、日本の伝統技術と最新の生産技術が融合した独創的な空間演出に貢献しています。



当社は本製品の製造にあたり、ガラス工芸家の原版意匠を再現するため「工芸品を工業製品に」をテーマに掲げ日本各地の高い生産技術を結集しました。当社の金型設計技術とガラス成形技術に加え、日本各地の精密加工・特殊研磨工程を取り入れた量産プロセスを確立し、世界初^{※1}のドアトリムオーナメントを作り上げました。

AGCグループは、経営方針 **AGC plus** の下、世の中に「安心・安全・快適」を、お客様に「新たな価値・機能」をプラスする製品づくりに取り組んでいます。今後もお客様に満足頂ける、新たな価値をプラスした製品をご提供できるよう技術革新を進めてまいります。

以上

※1 2017年10月現在、当社調べ。